

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	避難訓練の際、消防署と法人内の他部署との連携のみで、地域との連携や協力体制が出来ていない	火災や地震などの災害時に地域の方の協力が得られるよう、避難訓練の際、地域の方より参加して頂き、連携を図る	運営推進会議に出席していただいている、地区の役員の方へ、避難訓練への参加と協力を依頼する	6ヶ月
2	13	新しい職員が多く、指導出来る職員が少ない。又、自己学習意欲が低く、認知症ケアの理解や技術の向上が難しい	研修に積極的に参加し、スキルアップを図る	認知症についての研修に参加し、理解を深めていただく。他職員へ報告を行い、職員全員が情報の共有をする。	12ヶ月
3	38	職員の都合が優先してしまい、利用者様の声に答えられていない	出来る限り、利用者様の声を傾聴し、その人らしい生活ができるようにする	利用者様の話を傾聴し、実行可能な事へは速やかに実行していく	6ヶ月
4	49	集団生活に流され、利用者様の個々の思いや希望に添った対応が出来ていない。行事や外出は、職員の都合で決めてしまっている	身体状況に配慮し、可能な限り平等に、行事や外出を提供する	行事担当職員の話し合いを密に行い、行事ごとに担当を決め、利用者様の身体状況により選択出来る様計画する	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。